部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	11	観光施設整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	90,391千円	65,546千円	33,268千円	0千円
る経費全体	総人件費	13,211千円	7,204千円	5,659千円	
全体	総事業コスト	103,602千円	72,750千円	38,927千円	

事務事業名	01 筑	波山梅林及びその周辺整備事業	指標	票名 筑波山観光客	入込数				指標種別	成果指標				観光庁が策'	定した「観光)	、込客統計に関	する共通其	
3 3 3 3 3 7 7 6				H26年度	H27年度	H28年度	H2	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	扎	指標の概要			客をカウントした		
戦略プラン	12	1 観光の振興	目標	票値 200万人	200万人	200万人	200	万人	200万人	200万人	200万人			計)				
	2	1 観光の振興	実	209万人	196万人	221万人								  市営筑波山駐車場の利用台数				
総合戦略				工事で巨石の発生が 効活用する。 梅まつり前に工事を 手続きを速やかに進	終わらせる必要な	があるため , 補助							の他の指標	H28年度実績値(目標値) ・普通車:84,850台(80,000台), 大型車:1,094台(1300台) H29年度目標値 ・普通車:82,000台,大型車2,000台				
/田則寺高		 山梅林及び周辺整備計画(H21年 H25年12月一部変更	標		ケジュール管理を行う。				と調整し整備を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
個別計画		マスタ マスタ マスタ マス		おもてなし館周辺	整備丁事				山梅林見返り縁	台整備工事		Į	事業費(A)	73,001千円	59,602千円	25,675千円	0千円	
<b>根</b> 脚 注	茨城県	自然環境整備交付金事業交付要	事業	·木製デッキ,木製 ·遊歩道,階段整係	!階段,舗装 備		事業	筑波	デッキ再整備 山ウェブカメラ整 山御寺ヶ原・第3		- ブカィニ敕供		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
似地はマウ	項		計画	おもてなし館自然・おもてなし館内デ	ジタルサイネーシ	ブ用データ作成	計画	1 つつし	ロ岬羊が尿・巩が ジヶ丘駐車場満3 駐車場満空表示	2表示設置工事	ェブカメラ整備		県支出金	19,800千円	20,975千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意	意的事業		第3駐車場案内看板設置 ·梅林周辺~四季の道~第3駐車場周遊案内				梅林内案内看板設置工事 ・梅林内への案内看板整備			訳	地方債	0千円	26,700千円	7,300千円	0千円		
執行体制	補助金	(間接)										╢╽	その他特財	8,849千円	1,300千円	746千円	0千円	
▍ 示  備をす	ることで	びその周辺を一体的に活用した整で,新たな通年型観光拠点とし,更	光拠点とし,更 ▮活┃		整備事業	上半期						一般財源	44,352千円	· ·				
のおりが	ぶ山観 ≦業の活	光の利便性と魅力を向上し,周辺 f性化を図るため。また,通年で新た	実	│ ·木製デッキ,木製   ·遊歩道,舗装整値   おもてなし館自然	歩道,舗装整備 もてなし館自然解説板作成		期活動	-					人件費(B) 正 従事	10,982千円	4,794千円	3,249千円 0.40人		
		とリピーターを獲得することで,筑 間散期の解消に寄与するため。	績	・おもてなし館内デ		グ用データ作成	実績					内訳	<u>期合</u> 職 時間外 員 勤務	774.00時間		120.00時間		
				  巨石の影響を受ける	だ木制 デッキ , 流生			$\vdash$					臨時職員等	無	無	無		
事				われた他,梅まつりた。			<b>Ⅱ</b> ∓						事業コスト (A + B)	83,983千円	64,396千円	28,924千円		
の 活用す	るため	・園跡地及び周辺の市有地を有効 , 一部に環境省交付金を活用して, 経備を行う。	果	また, 梅林内の木! 芝生広場・フォレスト となり, 来訪者の利!	アドベンチャーへ	、のアクセスが良好	期成果	-				H 30 年 度	) ≣					
H28	-  -	-	課	・行楽シーズンにおり ・木道等施設の老朽 修が必要である。			課題						台 ] ]					
環境 関連 性				事業の 造成 を対数 は、 注版	连抄状况	, 建成	ì	事業の 生捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	<u>ì</u>					
14001 H29	-  -		有効性 中:適切な成果が得られている 評 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評		有効性 一 一 効率性					30年度	理由 -							
環境 関連 - 性			1 <sup>1111</sup>			************************************		総合評					方向性	生田				

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	11	観光施設整備に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	90,391千円	65,546千円	33,268千円	0千円
経費全	総人件費	13,211千円	7,204千円	5,659千円	
全体	総事業コスト	103,602千円	72,750千円	38,927千円	

事務事業名	동 02	筑波	g山麓整備事業 	指	標名	観光客入込数					指標種別	成果指標						、込客統計に関 客をカウントし <i>1</i>	
3 - 3/3 3 - 2/4 2		-, .,,,	C TROLL III 3 - SIC			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	計)	•		
戦略プラン	/	12	1 観光の振興	目: 	標値	400万人	400万人	339万人	376	万人	382万人	388万人	394万人			目標値は  標」	第2次つ(ば	市観光基本計	·画「目標指
		2	1 観光の振興	美	[績	342万人	332万人	370万人											
総合戦略	-	_				ŀ	H28年度					9年度		   そ(	の他の指標	-			
	-	-		改善善				1ては , 当面は簡易 衆トイレ(ユニット	晋	測量後(	≦の測量にあたっ 借用申請を行う。 コース変更また∫	また、コースに	民有地が含まれ						
個別計画	年月	き策え		一	式)を	設置する。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		目標	・駐車場地の選	コース変更また	足を解消するため 等の検討を行う	め,駐車場候補。	1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	'	2次 ]策定	つ〈ば市観光基本計画(平成29年 €)		告	節キュニュ 田地派	메를 O.Elem							事	事業費(A)	17,390千円	5,944千円	7,593千円	0千円
根拠法令等			-,	事業	・国	有林内のコース	コース用地測量 2.5km 内のコース用地を確定 理署へ確定した用地を申請			∥ ∌ │ ·国有	山口コース用地測量∶2.5Km ・国有林内のコース用地確定				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
低が スマミ	<del>3</del> -			計	常	常願寺コース入口案内看板設置 1ヵ所				│ ·民有	・民有地のコース用地確定及び調整				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	į A	任意	的事業	┩ 画   ·保全に関する注意喚起 				画   観光案		案内看板の設置			内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	<del> </del>	<b>郭委</b> 記	Ħ							-				-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事 筑波(	   筑波山麓の豊かな自然と歴史的文化資源を活用   して、山麓地域の活性化を図るととまに、駐車場					願寺コース用地》	베름·		上半						一般財源	17,390千円	5,944千円	7,593千円	0千円
素   や公	して,山麓地域の活性化を図るとともに,駐車場 ┃; や公衆便所等の利便施設を整備する。また,筑 ┃;	動	・国	有林内コース用 <sup> </sup>  有林内コース用 <sup> </sup>  林管理署への申	地測量委託実施	Ē	期活					J	(件費(B)	2,229千円	2,410千円	2,410千円			
B   波山   関   域を-	~ 山倉 一体的	蓮地は りに虫	域までの回遊性を高め , 筑波山地 整備することで , 行楽シーズンに負	実績	案	:林昌珪者への中 内看板設置 :篋山頂付近に案			動実	ľ					E 従事 割合	0.30人	0.30人	0.30人	
中する	る筑法	<b>支山</b> 種	親光への分散を図るため。 		, ±		的省份权益		│績					内影	時間外 動務	0.00時間	80.00時間	80.00時間	
					Н				<b>.</b>	-					臨時職員等	無	無	無	
				时	宝篋	山の登山コースの	の用地測量によ 小への立ち λ 1)で	り, 登山コースを確 の規制・除草など	II —						事業コスト (A + B)	19,619千円	8,354千円	10,003千円	
				果	の適	正な管理が可能。宝篋山観光資源	となり,魅力ある	る山麓観光の提供	期成果	-				Н					
	D 観に配慮した利便施設を整備する。 ・観光案内看板の設置 要			課題	での記している。これでは、平のには、平のには、平のには、平のには、平のには、中のには、中のには、中のには、中のには、中のには、中のには、中のには、中	駐車場不足及びに適正維持等に懸え 適山登山コースの ついても,コースト ア成29年度測量 るため,用地確定	山頂トイレの利用 念が生じる。 適正使用のため 用地の測量を行 予定の山口コー こにあたり、コー	), 行楽シーズン等 用者増により, トイ め, 残りの登山コー う必要がある。ま スには民有地が含 ス変更または, 借	課題	-				30年度当初積算根	-				
H28 環境 関連 性	環境 関連 <sub>-</sub> 性			<sup>1辺寺(</sup> 事業の 建捗状)		なる。			事業の 進捗状況		改善目標の 進捗状況	-	扱   拠 						
H29			評価	有效	効性 中:適切な 率性 中:適切な	成果が得られて 費用対効果が得	いる 得られている	評価	有効性効率性	<u> </u>	~17 1/1/10		H3 の7	0年度 方向性	理由 -				
性	性				総合	評価 B∶成果·費/	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	曲 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

	_																		
事務事業名	3 01 崔	鼠光放	<b>远</b> 設維持管理事業	指標	語 日 日	光客入込数					指標種別	成果指標		┨.				、込客統計に関 客をカウントし <i>1</i>	
₩₽ <b>₩₽ ₩₽ ₩₽ ₩₽ ₩₽ ₩₽ ₩₽ ₩₽</b>	Н			   目標		H26年度	H27年度	H28年度		年度	H30年度	H31年度	H32年度		指標の概要	計)   目標値は	,第2次つ(ば	市観光基本計	-画「目標指
戦略プラン	Η.	-   -				400万人	400万人	339万人	3/6	万人	382万人	388万人	394万人	_		標」			
		2 1	観光の振興	実統	績	342万人	332万人	370万人											
総合戦略	- -	-   -	-			ŀ	128年度			Г	H2	29年度		<b>∦</b> ₹	の他の指標	-			
		-   -	-	目し		:続き,光熱費等の経費の削減を図り,観光地とし <sup>-</sup> が要な維持管理を行う。			目	  引き続き筑波山山頂施設の改修につい  を行う。また,観光施設として必要な維持									
個別計画			ば市観光基本計画(平成29年4	標					標						事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	月策	(上)				山山頂施設維				筑波山山頂施設維持管理 市営駐車場維持管理 各観光案内施設等維持管理(筑波山観光案内所,お もてなし館,BiViつくば観光案内所)		1	事業費(A)	78,935千円	109,907千円	120,931千円	0千円		
根拠法令等	Ξ			事業	各観		間維持管理(筑	波山観光案内所,	事業				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
1区1处/公 マ 元	-			<del>素    </del>   計     画	梅林	はいら、 維持管理 「山休憩所・登山	ば観光案内所   山道維持管理		計画	梅林/宝篋!	維持管理 山休憩所・バイス	ナトイレ維持管理	!		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類					森林	体験パーク運動地区観光施設	営支援·修繕			<ul><li>□ 森林体験パーク運営支援・修繕</li><li>□ 茎崎地区観光施設維持管理</li><li>□ 市営第3・4駐車場管制装置精算機入替</li></ul>			内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	執行体制 一部委託				<u> </u>	, I, I, T西t⁄c÷凡4件	+± 25 IB			中昌9	弗 3 · 4 駐 卑 场 目 —————	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		$\  \ $	その他特財	43,353千円	55,098千円	62,104千円	0千円
<b>*</b>	事		›····································		·山頂	山山頂施設維 弘衆トイレ2ヶ 駐車場維持管	所		上半期						一般財源	35,582千円	54,809千円	58,827千円	0千円
【 ₹   た維打	寺管理	なしの意識で筑波山観光施設の行き届い 管理を行うことで , つくばの観光イメージを		│ 活│ ·市 ·│動│ ·山	·市営 ·山麓	·市営筑波山駐車場(第1~第4駐車場) ·山麓駐車場等6ヶ所									人件費(B)	14,364千円	14,534千円	12,314千円	
台  損なき	ことな	に、付	R適でかつ公共の安全が確保さ O向上に努めるため。	実績	·筑波	各観光案内施設維持管理 ・筑波山観光案内所,おもてなし館,休憩所				-					正 従事 語 割合	1.60人	. 1.80人	1.50人	
					·BiViつ〈ば観光案内所等 梅林維持管理 ·梅林植栽維持管理等				実 績					内 訳	時間外 勤務	928.00時間	508.00時間	500.00時間	
								ナケ 火劫毒の						╢	臨時職員等	有	有	有	
			維持管理を実施し,快適で魅力	17X	削減を	行った。また、		を行い,光熱費の り,市営駐車場か	/						事業コスト (A + B)	93,299千円	124,441千円	133,245千円	
栗   筑   筑   理    積	皮山頂 観光案	施設内施	是供する。 維持管理 市営駐車場維持管 設維持管理 梅林維持管理 維持管理 森林体験パーク運		観光	案内所等の観え	主対象を行うた。 光施設としての通 向上が図られた	適切な維持管理に	成果	[				3	0				
学 営支持	宝篋山休憩施設維持管理 森林体験パーク運営支援,修繕 茎崎地域観光施設維持管理			課題	山頂公なってきが、改調市設置要であ	きており,設置? 善が見込めない 観光施設にお	が化等により,維 者の茨城県に要 1。また,筑波山 いても老朽化し	持管理が困難と 望を行っている 観光案内所等の ており,改修が必	課題	-				4度当初称算机:	度 当 1 章 艮				
「 「 関連 ISO	-				事業の 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の 態捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	抄	U				
14001 H29	-  -			評 -	有効性	生中∶適切な	成果が得られて	113	評	有効性	<u>-</u>			Н	30年度				
環境 関連	-			価	効率 総合部		費用対効果が得	引られている こ努めつつ継続実施	価	効率性					方向性	理由  -			
II	性				心口计		ᆔᆚᆔᇇᆇᄣᅂᄯ	-カツノノ継続天旭		総合評	<b>ІШ</b> -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
る経費全体	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
全体	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

			▍	票名 施		\				指標種別	」 活動結果指	 樗								
事務事業領	当 02 🖹	茎崎こもれび六斗の森管理運営事業	3413	, , ,	H26年度	· H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	】 】 指	標の概要	施設の充実とサービスの向上,ニーズに応じた自主事業を展開することで,利用料収入の拡大に繋げる。					
戦略プラン	/ -		目標	票値	7,250千円	7,500千円	8,867千円		-	-	-	-			事業を展開り	9 SCC C , 利J	ℲℲ℟ÅℲℲÅ⅀ÅΩΩⅅ	人に終ける。		
	-		実統	績	7,858千円	8,943千円	8,110千円								施設利用状活	施設利用状況 H28年度実績(目標値)				
総合戦略	; -					H28年度				Н	29年度	-	そσ.	他の指標	。 r宿泊棟∶2	,241人(2,450, BQ:11,543人(	人) 11.000 人)			
	-			の向上	目主事業を充実することで,宣伝効果を高め,サービス D向上を図り,更なる魅力づくりを行う。また,除草管理			改善目		 施設の充実及び改修等を行い利用者へのサービス向    上を図るほか,利用者の安全性向上を図る。   -				H29年度目標						
個別計画		次つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標	など,人件費の削減を行う。			標	1202	工で図りはガーやの女子は円工で図り。				業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
四刀山	月策	(定)			第易な施設修繕 簡易な施設修繕				簡易	な修繕			事	業費(A)	11,327千円	7,569千円	14,529千円	0千円		
根拠法令領	¥		事業	キャビン木部やBBQ場の修繕				事業	■ キャビン改修工事 事 財恵提修様工恵					庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
似处石マ	<del>.</del>		計	キャし	もりたりり (場 ビン防腐塗装] 3年計画	で美心	計画	自動:	路修繕工事 火災報知設備記	: · · · · · · ·			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	į F 於	<b>拖設等維持管理事業</b>		キャし	ビンテラス屋根	限修繕工事(BB) む,雨天時でも				E管理者との調整及び指導 限付きバーベキュー施設設置工事				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	執行体制 指定管理者			1645									7	の他特別	0千円	0千円	0千円	0千円		
<b>=</b>		もれび六斗の森を適切に維持管理するこ り,受け入れ態勢の充実を図り,誘客の促進 ため。			ビンデッキ修約	善等		上半				一般財源	11,327千円	7,569千円	14,529千円	0千円				
→   業   茎崎   の   とに。	こもれる En 祭l			BBQ場改築設計 ・敷地測量・施設設計委託 備品等購入 指定管理者との連携 ・指定管理者と連携し施設の維持管理を実施									人	件費(B)	2,972千円	2,331千円	2,410千円			
	るため。												正贈		0.40人	0.30人	0.30人			
				自主事業 ・窯焼きピザ作り教室他									内員	時間外 勤務	0.00時間	50.00時間	80.00時間			
								╂.						語時職員等	無	無	無			
事指定	管理者	そと連携を図り、管理運営を行っている。	成	たが,危	き険性が高い:	キャビンデッキの	実施を予定してい )改修を優先して実	上半期						業コスト A + B)	14,299千円	9,900千円	16,939千円			
業 指定	管理者	では月1回程度で運営状況等につい ,利用者のニーズに応じた柔軟なサー	果	施した。	また, 平成29 及び設計委託	年度のBBQ場合	女修工事に向け,	加成果	-				Н							
概   ビス(	の提供	に努める。また,施設の老朽化が進ん から,計画的に修繕を行う。						^ 	-				30							
				体証が		11 利田老の宍4	全を確保するため,	課					年度当初	  -						
	<del></del>						攻修が必要である。	題	-				積量算							
H28 環境	環境	-	5米で		ᅵᄼᆂᄆᄺ			<b>事</b> 张不		しお美口様の		₩₩								
関連 性 ISO	-			事業の <u>捗状況</u>		改善目標の 進捗状況	, 建观	事業の 進捗状況		-	改善目標の 進捗状況		,~							
14001 H29	-  -	<u>_</u> -	評	有効性		は、成果が得られて							H30	年度						
環境 関連	環境 関連 -		価				が対象を					向性	-   理由  -							
"1生	性		総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価 -												

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
る経費全休	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
全体	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

<b>声</b> 双声光点	02		カサノカリ 東光	指植	標名	レンタサイクル利	 引用台数				指標種別	成果指標							
争仍争未亡	103 1	<i>)</i>	ヲサイクル事業			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	漂の概要	つくば駅及び	び筑波山口での	自転車の年度	度内貸出数
戦略プラン	-		-  -	目相	標値	-	-	-		-	1	-	-						
			-  -	実	[績	3,281台	4,057台	4,346台											
総合戦略	$\vdash$		-  -			ヲサイクルを利用	H28年度 引する方々への安全面や保管面で		改善	者の安	H29年度 トイクルの適正な点検・修繕を行うことに 全性を確保する。また , 実施スペース減 るため , 新たなスペース確保の検討と減		ース減少が見		他の指標	<u> </u>			
				目標	の周知	知徹底を行う。			目標	正に貸出検討を行	出できるよう利用	実績等を参考に	配置方法等の	事	業実施コスト	H27年度決算	F H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計画	自転   	車の	)まちつ〈ば基本計画												業費(A)	0千円	平成28年度.観光振興に要する経費	1,303千円	0千円
担切计个学	5 7 / 1-	ギ士	レンタサイクル事業実施要項	事	每2 小子 1	<b>繁忙期と閑散期での利用実績に差があるため , 的確か</b>			事	レンタサ ・BiVi	↑イクル O〈ば観光案内所	fī		国	庫支出金	2 0千円	0千円	0千円	0千円
依拠なマラ	- J\16	外巾	レノアリイグル争耒夫加安坦	計画		会に知られば知らの利用失績に生があるため、い能が D効率的な貸出形態に努め、各方面へ周知する。				H29.4.1~H30.3.31 ·筑波山口(関東鉄道(株)つ〈ば北営業所)		Ì	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	事業分類 A 任意的事業								画	H29.	4.1 ~ 11.30			内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	・つくば駅の周辺地域や,筑波山麓周辺地域の 観光資源を幅広く活用するための利便性向上を			BiVi	 iつ〈ば観光案内)	 所及び筑波山口	  において, レンタ						7	の他特別	0千円	0千円	1,303千円	0千円	
   事   ·つ(l)				サイク ジ及び	クル貸出·維持管	理を実施した。	また , ホームペー クルの周知を行っ	上半					一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円		
業観光資の図るた			動	た。 Bi\	/iつ〈ば観光案内	]所 26台 子供用	1 <del>4</del>	-期活動					人	件費(B) 従事	0千円	0千円	2,251千円		
┃目  ・つ⟨li ┃的  め。	ば駅か	ば駅からの2次交通手段として活用するた		実績	筑波山口									正職日	割合時間外	0.00	+	0.30人	
					·配置数:大人用 16台 子供用 2台 ·貸出数:大人用 391台 子供用 24台										勤務	0.00時間	0.00時間		
						/タサイクルの点 (自転車向け保)		ー 他し,安全性を確保 (施)							時職員等 <u>業コスト</u>	-		無	-
┃ 盂  実施(	つくば	ば駅:	気波山口で自転車の貸出業務を 通年 , 筑波山口: 4月~11月まで	成果	TX:	つ〈ば駅からの二	次交通手段とし	元) てレンタサイクル 図ることができた。	共力	<u>≦</u> 月 -				A + B)	0千円	0千円	3,554千円		
未   の8ヶ	月間) gの徴	。貸 収額	出にあたり,申請書受理及び利 等を委託。		また,	, つくば駅での増 導入した。	設及び筑波山口	]にスポーツ自転	成果					H 30					
<b>善施。</b>	(日料金の徴収等を委託。 ・自転車の修理,日別・月別利用台数調査を実施。 施。 日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日				〈ば駅周辺の駐 スペースが期限(		り, レンタサイクル る。	課題					年度当初積算根	-					
環境関連性	-				事業の き捗状法		改善目標の 進捗状況	達成	事業の   改善目標の     進捗状況   進捗状況					拠					
1SO 14001 H29	-  -			±ரு	有效		成果が得られて		有交					H30:	午度				
環境関連性	-			一個			中:適切な費用対効果が得られている 価		一個	効率性					中度 向性	- 埋由 -			
12	性				総合	評伽 B∶成果·費)	用対効果の同上に	こ努めつつ継続実施		総合評	1Щ   -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	12	観光施設維持管理に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	90,262千円	117,476千円	137,277千円	0千円
る経費全体	総人件費	17,336千円	16,865千円	17,735千円	
全休	総事業コスト	107,598千円	134,341千円	155,012千円	

事務事	業名	04 広塩	或レンタサイクル事業	指標	名 広域レンタサイ	クル利用者数				指標種別	成果指標							
3-00-3	· * u	01/2-2	Wレン / ン   / / / / 子来		H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	<b>旨標の概要</b>	広域レンタサ	けイクル利用者	数。	
戦略に	プラン		-  -	目標	<b>!値</b>	-	-		-	-	-	-						
		2	1 観光の振興	実終	績 -	155	744											
総合	<b>戦略</b>					H28年度					9年度		z	の他の指標	-			
	_			改善	広域レンタサイクル 基本と考えていたが 数いるため、広域レ	域レンタサイクル事業において,当初から乗り捨てを本と考えていたが,乗り捨てを希望されない方も一定いるため,広域レンタサイクル事業実行委員会におし			及び利用  休止期	他構成7市で連携し,広域レンタサイクルの実施 用促進のため,事業の周知を行う。また,冬季の 間については利用者の利便性向上を図るため,								
個別	計画	水郷筑	波広域レンタサイクル乗り捨てシス		て調整を行う。					こいて県等関係権	機関と検討を行	į	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
		テム検	証事業									-	事業費(A)	0千円	平成28年度:観光振興に要する経費	514千円	0千円	
根拠法	· <b>今</b> 笙			事業	実証実験から本事業 調を合わせ , 各メデ	<b>美に移るにあたり</b>	, 関係自治体の歩	事		ソタサイクルの実				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
11232272	, <del>, , ,</del>			i	調を合わせ , 各メデ <i>゙</i> 図りつつ , 利用者増	し,知名度アップを	計画	業			案内所 1月は休止)		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	C 補助金・負担金事業											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	体制 :	全て委	託										$\  \ _{\mathbf{L}}$	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車	日本初	初の広域レンタサイクル乗り捨てシステム きすることにより、新たな観光ツールを提供 光客や地元住民が地域を周遊する動機づる。また、茨城県のサイクリング環境を広く る。とともに、交流人口の拡大と地域経済の						上半						一般財源	0千円	0千円	514千円	0千円
泰	៸,観光			活動	茨城県及び構成77 波広域レンタサイク	会により,水郷筑 ぶ運営方法等の検	期	l.				)	人件費(B)	0千円	0千円	760千円		
貝片				実績	討を行った。			動						世	0.00人	0.00人	0.10人	
	11±16	<u>~~~</u>						績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	10.00時間	
														臨時職員等	-	-	無	
事	つくば	リンリン	ノロードから霞ヶ浦自転車道に関連	成	平成27年度の実証 本事業として稼働。 <sup>-</sup> BiViつ〈ば観光案内)	実験の結果を受ける約のあった広域	け, 平成28年度より ルンタサイクルを	上半期	l.					事業コスト (A + B)	0千円	0千円	1,274千円	
業の	する7自 7 <b>ル</b> 乗!	1治体と )捨てシ	:茨城県で水郷筑波広域レンタサイ ・ステム検証事業実行委員会を立	果烷	HiViつ〈ば観光案内〉	所より貸出を行っ	た。	成果					H 30					
要力	クル乗り捨てシステム検証事業実行委員会を立ち上げ,委託先を決定し,自転車5台を新たに購入し,事業展開していく。		課     題	冬季期間の12月から 月に利用再開となっ 状況である。また , 記 ペース確保が困難な	ているが,全体的 设置数増の申し出	]な貸出数は低い があったが保管ス	課題	-				年度当初積算根拠	<u> </u>					
ISO	環境 関連 <u>-</u> 性				業の 接状況 達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	连风		事業の き捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
14001	H29	<u>-  -</u>	評	有効性 中:適切が 効率性 中:適切が	は成果が得られて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		有効性 - : : : : : : : : : : : : : : : : : :			80年度	理由  -							
	環境 関連 - 性		一	価	総合評価 B:成果・費			_ 価	総合評				(D)	方向性	注叫			

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
る経費全体	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
全体	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

事務事業	<b>≱名</b> (	)1 まつ	りりつ〈ば事業	指標	名 来場	者数					指標種別	活動結果指	標						
3 - 323 3 - 21			1			126年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	まつりつくば・	への来場者数		
戦略プラ	ラン	12	1 観光の振興	目標	[値] 46	60,000人	460,000人	470,000人		-	-	-	-						
		-   -		実終	績 46	60,000人	470,000人	440,000人											
総合戦闘	略						H28年度				H2	9年度	-	その他の指標		_			
							対策を強化するだ 上増加させる。	こめ,当該付近の係	改善目	増員し対	注車場や店舗に無 対応する。 アンションの入居		-						
個別計i			つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標	,, en 17.	200711170	<u> </u>			する。	) 1) () () () () () () () () () () () () ()	L ( 0, 2 ) 2 ( )	(St.) [0] [E 05/-37/H		■業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		月策定	)			〈ば2016の原 年 8 日 27日	開催 ·28日の2日間】				つくば2017の開作 29年8月26日・2			事	業費(A)	24,706千円	25,522千円	25,751千円	0千円
担切注念	>空 =	t つい	O〈ば事業補助金交付要項		·補助金要	東項の制定· D実績報告·	補助金の申請:	4月~5月	事	┃·補助金	を要項の制定・補 の実績報告・確	助金の申請∶4月	月~5月	1	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
低地石 マ	₹ਚ	トンり.	八战争未開助並文刊安填	計	1月		部会議の開催∶前		業計画	rまつり <sup>*</sup> 1月	つ〈ば大会本部会	会議の開催:前年			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	類 E	補助	h金·負担金事業		・まつりつ	·まつりつ〈ば運営実行委員会の開催: 4月 ~ 10月 ·まつりつ〈ば外部評価委員会の開催: 6月 ~ 9月 ·まつりつ〈ば推進本部·推進会議の開催: 4月					・まつりつ〈ば運営実行委員会の開催:4月~10月 ・まつりつ〈ば外部評価委員会の開催:6月~9月 ・まつりつ〈ば推進本部・推進会議の開催:4月				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体統	制	甫助金	(直接)							1.2.00	ノ/は推進本部・	推進去議の用情	<u> </u>	₹	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
声(	> / I-¥'-	+ 8 4	- ^ 프 + ^ !! ! · · · · · · · · · · · · · · · ·		昨年度に「オールつ	司様に,'ま? )⟨ば」体制の 2088 つ/	つりつ〈ば大会本 Dもと, 平成28年 ば四周第6445	○部」を中心に , 8月27日(土) ·28	上						一般財源	24,706千円	25,522千円	25,751千円	0千円
業を活	舌かし	市内	ての夏まつりとして,市の地域特性 外の人々の交流を図るとともに,つ にしてふるさとを感じることができ	I <i>II</i> I -	ロ(ロ)の 2016を開作 できた。	2 ロ间 , フ( 催し , 大きな	は駅周辺会場に 事故等もなく,無	8月27日(土)・28 にてまつりつくば 乗事終了することか	半期活					人	.件費(B)	25,340千円	23,927千円	23,927千円	
目るま	まつり	とする	ことを目的に,観光振興及び市の を図るため。	美	また、ホ			よ会場として拡大 ント等を実施した。	動	ľ				正贈	従事 割合	2.00人	2.00人	2.00人	
п		, , ,	CE SICO		し,例年にも増して盛りだくさんのイベント等を実施した。  実    桜大橋の安全対策として警備人員を増加し,店舗数を   績  減少させた。							内 訳		時間外 勤務	3925.00時間	3500.00時間	3500.00時間		
										$\vdash$					<b>a</b> 時職員等	無	無	無	
事				成	· 今回で36 社出版の	6回目の開催 雑誌「日本の	崖を迎えた「まつ「 D祭り百選」にも エ	りつ〈ば」は,宝島 県内で唯一掲載さ							業コスト (A + B)	50,046千円	49,449千円	49,678千円	
大 いた	ながら ハまつ	゙゙゙゙゙ふる	多様な文化の融合により, つくばに さと」を感じることができる, つくばら コンセプトとし, まつりつくばを開催	^\   '	れるはとii ·来場者数 となった。	総知度か高。 対は,悪天候	まった。 ものため昨年度よ	けも下回り44万人	期成果	-				H 30					
要 / ***********************************		-		課題	·民間駐車	亘場や店舗╱	への無断駐車対	応が必要である。	課題	-				年度当初積算根	-				
環境 関連 性 ISO	竟 連 <b>_</b>				≨業の 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成		」 事業の <u>き捗状況</u>	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
14001 H29	001		■			成果が得られて		■	有効性				H30	)年度					
環境 関連	環境							<sup>1</sup>					神及 - 前向性 -	理由  -					
性				i	総合評価	B∶成果·費	用対効果の向上に	2努めつつ継続実施		総合評	価   -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
る経費全体	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
全体	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

事務事業	業名(	02 つく	ば物語事業	指標	名 来場者数	数					指標種別	活動結果指	<b>一</b>						
3 - 3,33 - 3		,	10.110.110		H26 <sup>2</sup>	年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	<b>信標の概要</b>	つくば物語へ	の来場者数		
戦略プ	ラン	12	1 観光の振興	目標	值 9,00	00人	9,000人	5,000人		-	-	-	-						
		-   -		実績	責 3,50	00人	5,000人	4,000人											
総合戦	略					Н	128年度			_	H2	9年度		     そ(	の他の指標	-			
					開催期日をはこ確定する。	4月中に	決定し,メインの	出演者を6月まで				      演者のスケジュール調整を早期に行い,開    決定を早めに行う。							
個別計			- ⊃〈ば市観光基本計画(平成29年4	標	,,_,	標					1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
同いコロ		月策定	)		・つくば物語2016の開催 ・つくば物語2017の開催							事	事業費(A)	6,504千円	6,637千円	6,649千円	0千円		
根拠法令	今等 -			事 .	【平成28年1 開催期日、	10月下旬 事業内容	】 等の検討:4月·	~ 6月	事業	·開催期	29年10月下旬】 3日 , 事業内容等 <sup>-</sup> ージ出演者含む	『の決定:4月~( 『ì)	5月		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
10,274	<b>V</b> 13			計	╡			Fの予約:6月~8 _	計  画			その他施設等の	)予約:6月~8		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	類	4 任意	意的事業	' '   '	各種契約行 準備行為:10		小告知:9月~1	10月			!約行為・イベン  「為∶10月	月	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体	制 -	一部委	託												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車					亚成28年10	n⊟30⊟/I	コ)に亚沢宮海道	遺跡において,「さ	上半						一般財源	6,504千円	6,637千円	6,649千円	0千円
業 業 のし	平沢官	宮衙遺! た40~	跡を始めとする観光スポットを認識 てもらい、筑波山や筑波山麓に再	動	弋遺跡で奏で	でる音楽の	)祭典」と題し, 1	つくば物語2016を	期   活					J	人件費(B)	2,555千円	2,490千円	2,490千円	
目的来	訪して	こもらう	というい、	大   -	前催した。本 えるとともに, ブースコーナ・	,遺跡ガイ	メインゲストに歌手の花*花を迎 バ・地元の物産品販売や飲食 した。	動実	[				I I		0.30人	0.30人	0.30人		
								績					内影	時間外勤務	122.00時間	110.00時間	110.00時間		
									+						臨時職員等	無	無	無	
車「五	亚识官	7年浩	       弥PRを兼ねて , 一流アーティストに	成し	山麓の歴史遺	遺産等の額	よるコンサートを 観光スポットやt	を呼び水に , 筑波 也元物産を広〈周	上半期						事業コスト (A + B)	9,059千円	9,127千円	9,139千円	
業 の 施 概 手	るコン 。 法∶イ	サートベント	をメインに地元物産の販売を実 内容を企画し,市広報・ポスター / チ		回することが <sup>.</sup> 来場者数は		なった。		成  果	-				H 30					
H2							ケジュール調整 かる必要がある。	に苦慮したので, ,	課題	-				年度当初積算根					
以	連 _				業の 歩状況	達成	改善目標の進捗状況	達成		事業の   捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	!				
14001 H2		-  -		一 有効性 中∶適切な成果が得られている 評			有効性				H3	80年度	TH +						
関	環境			I ""				!が得られている  句上に努めつつ継続実施		<ul><li> 効率性 -</li><li> 総合評価 -</li></ul>				方向性	理由  -				

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

d	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
っる経費全体	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
全体	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

事務事	<b>業</b> 名	03 つ	くば	フェスティバル事業	指	標名	<b>R場者数</b>					指標種別	活動結果指	標						
<del>-</del> 323 <del>-</del>	* "		\100	) = ///   / /// <del>-</del> //			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	旨標の概要	つくばフェスラ	ーィバルへのシ	<b></b> 卡場者数	
戦略ブ	プラン	12	2 1	観光の振興	目 	標値	120,000人	150,000人	140,000人		-	-	-	-						
			-	-	実	[績	130,000人	140,000人	140,000人											
総合単	线略		-	-				H28年度				H2	29年度		<b> </b> そ	の他の指標	-			
	_		-	-	改善目		・本イベントのテーマのひとつである,「科学」を強調するため,市内研究機関の参加を2機関以上増加させる。					・本イベントのテーマのひとつである, 「科学」を強調する ため,新しいもの(VRなど)を行う。								
個別言				ば市観光基本計画(平成29年4	標	/200,110			X <u>— Дин</u> с с о,	目標	1203,371	501 505 ( T. K. S.	۵, ۵۱۶ کا		1	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间的加口	11   12	月策定	定)			l	・つ〈ばフェスティバル2016の開催 ・・つ〈ばフェスティバル2017の開催								-	事業費(A)	4,495千円	4,500千円	4,500千円	0千円
根拠法	令等	つ(ば <sup>陌</sup>	ジフェ	スティバル事業費補助金交付要	事業	【平成·補助3	成28年6月4日 金要項の制定	·5日の2日間) :·補助金の申請:	: 4月	事業	【平成2 ·補助金	29年5月13日・1 :要項の制定・補	4日の2日間     助金の申請:4	╡		国庫支出金	0千円	0千円		
	•	炽			計画	·補助3	金の実績報告	∵確定∶10月	開催:前年度2月~	計画		の実績報告・確フェスティバル事	筐定∶10月 €行委員会の開催	崖:前年度2月~		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	分類	E 補J	助金	· 負担金事業		10月	() = )()   ) ()				10月	7 - 200 17 00 20		E. 13 1 12 2 7 3	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	本制	補助釒	金(直	<b>ī</b> 接)							-					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
<b>=</b>						つくばす			び本市主催のもと, 戊28年6月4日(土)・	上						一般財源	4,495千円	4,500千円	4,500千円	0千円
	つ(ば 全の春	まつり	大の )とし	特色である科学を取り入れた科 て、「つくばの科学と国際交流」	活動	5日(日	)の2日間,つ	つくばセンター広場	場周辺会場におい した。主な内容は,	上半期活動					)	人件費(B)	4,257千円	4,140千円	4,140千円	
g   を	゠゚゚テー゙゙	マに未	来0	D担い手となる子供たちを中心と を実施するため。	実	市内小会会員	中学校や研究 等による物販	党機関による体験 (, 国際交流フェブ	検型イベントや商工 ア等を実施した。						Ī	従事 正 割合	0.50人	0.50人	0.50人	
нэ								参加を2機関(つ <sup>、</sup> )     強調することがで	〈ば植物園 , 国土地 きた。	実績					内訳	時間外 員 勤務	203.00時間	180.00時間	180.00時間	
						-					-				$\  \ $	臨時職員等	無	無	無	
<b>.</b>					成	んちょ	を実施した。		ミニやロボットゆうえ	半						事業コスト (A + B)	8,752千円	8,640千円	8,640千円	
素  イの   た	´ベント :科学·	、未羽 イベン	来の: 小 , [	(国際交流」をテーマにした春の担い手となる子供達を対象とし 国際交流事業を目的とした国際    委員会形式で企画運営する。	果	するこ	とができた。	重して,'国際都市 度同様の14万人。	うつくば」を広くPR となった。	期成果	-				H 30	)				
要 (	C//ILV -	-  -		-	課題	内研究	ヾントは,科学 機関の参加が きかける必要:	が少ないので,各角	つとなっているが,市 所に参加してもらう	課題					年度当初積算	<u>[</u>				
玛 	H28 環境 関連 _	•		•		 事業の !捗状況	達成	) 改善目標の 進捗状況			 事業の    進捗状況		改善目標の   進捗状況		根拠	<u> </u>				
ISO 14001		_ 1			, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	有効		<u> </u>	•	1	有効性	<u> </u>	とうグバル	1						
H 環	H29 環境		評価	効率	性中:適切な	は費用対効果が得	力果が得られている						30年度 方向性	理由 -						
	関連				総合評	P価 B∶成果·費	貴用対効果の向上に	に努めつつ継続実施		総合評	(西 -									

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光イベント推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	13	観光行事に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	36,250千円	37,240千円	37,500千円	0千円
る経費全体	総人件費	33,852千円	32,209千円	32,209千円	
全体	総事業コスト	70,102千円	69,449千円	69,709千円	

事務事	業名(	04 〈き	ざき夢まつり事業	指標	票名 来場者	<b>当数</b>					指標種別	活動結果指	<b>二</b>							
3 - 3,3 3		, ,				26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	〈きざき夢まつ	つりへの来場を	<b></b>		
戦略に	プラン	-   -		目標	贈[ 11,	人000人	11,000人	11,000人		-	-	-	-							
				実統	績 11,	人000人	2,000人	10,000人												
総合	<b>戦略</b>					ŀ	128年度				H2	9年度		そ(	の他の指標	-				
	_				│·協賛金の確保を効率的に行うため,9月までに実行委 │ 割 │員会内に「(仮称)協賛金部会」を設置する。						改 チラシの区会配布範囲の拡充・市施設等での配布によ 善り, 茎崎地区以外についても周知を行う。 目 また, 協賛金の確保のため, 実行委員会において, 新た									
個別	計画	第2次	つくば市観光基本計画(平成29年4	標	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				標	な協賛会	金の創設につい	創設について協議を行う。			事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
		月策定												事	事業費(A)	545千円	581千円	600千円	0千円	
根拟注	公生 (	/ キ ざ き	・ 夢まつり事業費補助金交付要項	事	·第4回〈きる 【平成28年	F11月19日	]		事業	·第5回〈きざき夢まつりの開催 【平成29年11月23日】			[	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
11212272	, 4 <del>1</del> 1	1000	: 夕るフリザ未員 間の並入り女児	計画	・補助金の調	実績報告∵			計画	·補助金	の実績報告・確				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	分類	E 補且	力金·負担金事業		・〈きざき夢ミ	まつり実行	<b>委員会の開催</b> ∶	4月~12月		·⟨きざき 	き夢まつり実行委	長員会の開催:4/	月~12月	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	執行体制 補助金(直接)														その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
<b>=</b>	<u> </u>				〈きざき夢	きざき夢まつり実行委員会のもと,平成28年11月20									一般財源	545千円	581千円	600千円	0千円	
業の	地域に	に密着したまつりとして,様々な世代に楽し らえるようなイベントを開催し,地域活性化		動	日(日),茎に 及び商工会	崎運動公園	園において,茎崎	奇地区の各種団体 -ジイベント等を実	上半期活		-			人	、件費(B)	1,700千円	1,652千円	1,652千円		
			進を図るため。	<sup>±16</sup>    実  施□   績   ま				員長で構成する協	■ 重力							0.20人	0.20人	0.20人		
-3					貧金部会を	<b>査金部会を設置し,より円滑に運営することができた。</b>			績					内影	時間外 勤務	80.00時間	70.00時間	70.00時間		
					本年度は	晴天のため	り、開催当日の多		╂.					E	臨時職員等	無	無	無		
事	地域 <i>0</i> 全業祭、	)ふれ 平成	あいの場として昭和49年から商工 12年度からひまわりまつりとして名 きたが,地域のお祭りとして定着し よ,地域活性化を促進するため,茎	成	比べ大幅に当該地区の	増加した。 多〈の団体	茎埼地区区会議 本が準備段階か	車合会をはじめ, ら係ったことによ	■ 上半 期						事業コスト (A + B)	2,245千円	2,233千円	2,252千円		
(O)	奇地区(	の区長	会やPTAの関係団体等で実行委	果	り,改めて当 ることができ	当該地区のきた。	)地域間·世代間	の交流を促進す	成果	-				H 30 年						
一要   員会を組織し,より地域に根ざした市民参加型のイベントとして実施している。   -   -   -   -   -				課題	が必要であ ・事業費の重	る。 重要な財源		方法を検討すること E昨年度以上確保 i要がある。	課題					年度当初積算根						
ISO	環境 男連 上 性				手業の 捗状況	達成	改善目標の進捗状況	连风		事業の 生捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠						
14001	H29	評			成果が得られて 一 費用対効果が得		評	有効性					0年度	理由  -						
	環境 関連 - 性   性		価		  	価				のブ	方向性 <sup>-</sup>	土田 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事	<b>堂</b> 名	01 つぐ	ば観光コンベンション協会補助事	指標領	名 観光	入込客数					指標種別	成果指標				観光庁が策	定した「観光 <i>入</i>	、込客統計に関	引する共通基 値(年集
3-30-3-	· 八 口	業				26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	į	指標の概要	計)			
戦略ブ	プラン	-   -		目標(	直 40	00万人	400万人	339万人	376	万人	382万人	388万人	394万人			│ 目標値は │標」	,第2次つ⟨ば	市観光基本計	画「目標指
		2	1 観光の振興	実績	34	42万人	332万人	370万人											
総合単	线略		-  -			ŀ	H28年度			1	H2	9年度		l そ	の他の指標	_			
	_			曹   開	を図り,	コンベンショ つ〈ば市の~	ョン協会が主体的 イメージアップ及	的となった事業展 び事業収入につ	改善目	▍ 善 自己財源の確保など,財政基盤の強化を引き続き図る									
個別言			 つくば市観光基本計画(平成29年4	標しな	:げる。	్ ప			標	6 711-7	× 211 ↔ 0 € € 1 / 0				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧りり		月策定												Ī	事業費(A)	41,275千円	41,275千円	41,275千円	0千円
根拠法	-今等	一般社	団法人つ〈ば観光コンベンション協 補助金交付要項	事業	) /   「粗米	コンベンジ	こい協会が各関係	系機関と連携をと	事業	協会運営	営が適正に行わ	れるように指導助言を行うととも			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
113,7274	· • •	会事業 	補助金交付要項				開に取り組んで		計画	協会運営が適正に行われるように指導助言を行うととに,協会との連携を強化し,観光キャンペーンや,観光イベントを実施し,更なる観光誘客を行う。			ペーンや , 観光 う。		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	分類	E 補目	加金·負担金事業										内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体	执行体制 補助金(直接)													$\  \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
<b>=</b>	<b>\$</b>				○〈ば観光コンベンション協会の各事業に対し,適格が										一般財源	41,275千円	41,275千円	41,275千円	0千円
		コンベンション協会の財源充実,体制強化 ,行政を超えた領域の観光事業の充実を		動し	フへは観ルコンペンション励会の古事業に対し、過程が D適正なアドバイス・助言等を行った。 毎まつりなど様々な事業を行うにあたり,事前の打ち合			∥期					_	人件費(B)	1,567千円	3,011千円	2,225千円		
目的区	図るため	1 J I X で <b>う</b> 。	. 起んた領域の観儿事業の儿子で	実   <sup>徴ま</sup>   わせ	はようりなと様々な事業を行うためたり、事前の行ち占 りせやコミュニケーションを頻繁に行い、相互理解を深 めることに努めた。			૾૽┃動┃						正	0.20人	0.40人	0.30人		
					0				績					内訳	時間外 勤務	30.00時間	30.00時間	10.00時間	
															臨時職員等	無	有	有	
重				成都	!光物産!	果からの指導	導·助言等により	, 適正な予算執	上半期						事業コスト (A+B)	42,842千円	44,286千円	43,500千円	
業   章	言を行(	∫適正	あることから事業に対する指導,助 な運営を図る。	果行	及び各種	重事業等が	スムーズに行う	ことができた。	別 成 果	-				Н	1				
±n∡ i	誘各の	)ため( 連携を	D観光キャンペーンやイベント実施   図る。											3(					
				<b>運</b>	1/1千年14	コンベンバ	ョン協会が , 独自	3の車業屈関を	課					年度 当初	麦   当  -				
							ずることが責務と		題	-				10   11   12   13   13   13   13   13   13	<b>責</b>				
現	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -	===	# A I		│ ひ羊□+m ♂	<u>. 1</u>		声状の		ᆘᅔᄆᄪᄼ	1	₩ 長	艮丨						
图				業の 状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の <u>き捗状況</u> T	-	改善目標の 進捗状況	-	1/4						
ISO 14001		- [-			有効性	中:適切な	成果が得られて	いる		有効性	-				00/5				
環 関	H29 環境 関連 性 性		評	効率性	中:適切な	費用対効果が得	用対効果が得られている 評価	効率性	-			H30年度 の方向性		理由 -					
		総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施 総合評価 -	西 -																

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
,る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事	<b>業名</b> (	02 観光振興事業	指標	票名 観光入込客数					指標種別	成果指標				観光庁が策定準」に基づくき			
3-003	· * u ·			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	計)			
戦略に	プラン	-   -   -	目標	票値 400万人	400万人	339万人	376	万人	382万人	388万人	394万人			目標値は,  標」	第2次つ(ばī	市観光基本計	画「目標指
		-   -   -	実		332万人	370万人											
総合	<b>戦略</b>	-   -   -		I	H28年度	**! * ! !		T T	H29年度			その.	の他の指標	-			
			改善目	Biviつくば観光案内所 ドの他に様々な依頼 足アップのための接近 また,つくば市総合案	Tにあける観光が や要望が届いて 遇力を向上させる	条内において, ガ1 おり, お客様の満 る。			プリ開発のための 化を目指す。	)調査研究を行り	八,平成30年度						
個別		第2次つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標	また,つ〈ば市総合案 し,有効に活用する。	内所については	は,物産会と連携	目標	37 J #10 E LIB 7 8			事	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
		月策定) 										事	業費(A)	11,682千円	5,706千円	6,438千円	0千円
根拠法	- 今等 -		事業	つくば観光コンベンシ	ョン協会委託事	業であり,様々な	事業	L				<b>[</b>	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
11272			±±	接遇・スキルアップに 積極的に実施していく	つながるようなā 。	研修や情報交換を	業計画	更なる額 	観光誘客が図れる	るよう, つくばのネ	観光PRを行う。		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類 /	A 任意的事業										内 訳 _	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	本制 -	−部委託										₹	その他特財	1,000千円	0千円	0千円	0千円
車		紹介することにより,市外からの多くの方 📗 🛭		つくば観光コンベンション協会や筑波ブロック		ブロック広ば粗楽	上半						一般財源	10,682千円	5,706千円	6,438千円	0千円
業に	ト内の智 ・大力を約		活動実績	連絡協議会などの関係の発信を行うとと	,つくば市の観光 ,つくば市の観光 フォメーションセン	単期活					人	、件費(B)	2,497千円	2,463千円	5,394千円		
の目的	こ <del>米</del> 訪い 旨すため	)。		ターBivi及び筑波山観れた観光客に対し、素	光案内所におり 内業務を行った	系団体と連携し、つくば市の観光 もに、総合インフォメーションセン 光案内所において、つくば市を訪 内業務を行った。	動実					正明	£	0.30人	0.30人	0.70人	
							績					内員	時間外勤務	100.00時間	100.00時間	100.00時間	
				 	安白 トレ 支託	・	<u> </u>						篇時職員等 - 314 1	無	有	有	
事			成	・つくは巾観光の知名  上を図ることができた  ・つくば駅南北通路内	0		半期						写業コスト (A + B)	14,179千円	8,169千円	11,832千円	
のり	興を促進	光PR事業を実施し,本市の観光産業の振 隻するとともに,地域経済の活性化を図		整を行い,平成28年6 を開始した。	月より、つくばす	5物産館として運用	成果					Н					
概要	5.											30 年 度					
			課	  チラシ・パンフレットの  発信を行っているが,	ほか, HPやSNS 再なる情報発信	Sを活用し,情報の	課					   当   初	-				
	T -	<u> </u>	題	光信を行うしいるか,  必要。 	丈はる旧報光信	コン 一 ハハハ(光型) ツ,	題					積算					
:	H28 環境 関連 <b>_</b>	事業の達成	改善目標の			事業の		改善目標の	<u> </u>	根拠							
	性		進	<u>:f莎イλ<i>i</i>兀</u> 	<u>進捗状況</u> 成果が得られて	,	進	<u>≛捗状況</u> ┃ 有効性		進捗状況	<u> </u>						
	H29 環境	[-	評価	効率性 中:適切な			評価	効率性					)年度 	理由 -			
	関連 <u>-</u> 性			総合評価 B:成果·費	 用対効果の向上I	の向上に努めつつ継続実施	総合評	価 -			の方向性						

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事	業名	03 つく	ば市学術会議支援事業	指標			<del></del>			指標種別	成果指標		16.	I = 0 107 TE	市内で開催さ	された国際会認	義の回数(年集	[計)
	0 — .			<u></u> ┃ 目標	H26年度 値	H27年度 _	H28年度 		年度	H30年度 _	H31年度 _	H32年度	指	標の概要	目標値は	<u>,</u> 平成27年度「	まち・ひと・しこ	ごと創生事
戦略に	ブラン				90回	37回	40回	4	4回	47回	50回				業」評価指数			
		-   -		実績	債 66回	44回	63回											
総合	<b>戦略</b>	-   -				H28年度			T		9年度			他の指標	-			
	-	-   -			現行制度では,会議 金であったが,国際:	自体の赤字補て 会議誘致のため(	んが目的の補助 の補助金制度に改	改善	国際会議た,さら	国際会議の補助対象人数について,見直しを行う。ま と,さらに学術会議の誘致を図るため,今後は補助金だ けでな〈,PR等の支援に関しても検討してい〈。		直しを行う。ま 今後は補助金だ						
個別記	±	第2次	つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	∥ 樟 │⁰	める。			標	けでなく	,PR等の支援に	こ関しても検討し	ていく。	事	業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
心心	計画	月策定											事	業費(A)	5,780千円	13,541千円	15,500千円	0千円
+C +bn >+	- A ~~	<b>-</b> / 1-13'-	ᆉᄽᄺᇫᄼᆇᆉᄳᅷᄜᇫᄼᆠᄼᅼᄑᅚ	事順	国際会議開催にあた	:り, 事前準備期	間が前年度にな	事	┃ ┃ ┃ ┃ 国際会議開催にあたり,申請期間が前年度となるため,					庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
恨拠法	令寺	ン(は)	市学術会議支援補助金交付要項	計	り,それに合わせてネ ているので,適格か <sup>・</sup> 行っていく。			事業計画	会議開催計画に合わせて適格かつスムーズな予算の確保,執行を行っていく。			ļ	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	分類	E 補B	加金·負担金事業		1) ) ( ) ( )								内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	体制 :	補助金	(直接)						-				7	の他特財	1,780千円	0千円	3,000千円	0千円
=								上半						一般財源	4,000千円	13,541千円	12,500千円	0千円
事業に		市内における学術会議の開催促進を図る			つ〈ば観光コンベンション協会を通じての補助金交付								人	件費(B)	1,754千円	1,466千円	2,225千円	
の目的	<b>こめ</b> 。			実に	実しいて、スムーズかつ適切な補助金執行を行った。					期 活  - 動 実					0.20人	0.20人	0.30人	
								績	續					時間外 勤務	100.00時間	0.00時間	10.00時間	
								╂.						品時職員等	無	有	有	
事 .				II JJX, IN	補助金制度の見直し 適切に実施すること	ルにより,補助金の	の執行が迅速かつ	■半期						業コスト A + B)	7,534千円	15,007千円	17,725千円	
一の	学術会 力金交	議主催 付及ひ	者に対する支援策の一環として補 開催準備金の貸付を実施し,それ 務及び広報活動をつくば観光コン/	果   <sup>1</sup> / <sub>7</sub>	が出来た。	がてで,又扱争未	♥の促進で図ること	成果	ľ				Н					
概要	ノション	協会~	務及び仏報/古期を フトは観光コン/ <b>\事務委託する</b> 。										30年					
				<u></u>	はいかをたたげ ト	ハヘ業を話めでき	5 2 とるか判 度にで	±⊞					年度当初	_				
				疎   で	補助対象を広げ,よき きるようつ〈ば観光コ	ンベンション協会	さるような耐浸にていると調整する。	課題	-				積					
3	H28 環境	-  -	<u> </u>	-	1 W O				<b>事业</b> 。				算   根   拠					
F	関連 上性				議の 造成 世状況	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	连观		事業の <u>き捗状況</u> T	-	改善目標の 進捗状況	-	1/2	<u> </u>				
14001	01			有効性 中:適切な	は成果が得られて	เกอ	÷	有効性	<u> </u>			шоо	<b>在</b> <del>在</del>					
3	H29 環境 関連 <b>-</b>			評	効率性 中∶適切な	は費用対効果が得	対効果が得られている 評価		効率性	<b>E</b> -			H30年度 の方向性		理由 -			
	性				総合評価 B:成果·費	聞用対効果の向上I	に努めつつ継続実施		総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		67,986千円			0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全休	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事業領	名 04	筑波	山交通渋滞対策事業	指標	名 渋滞対	策実施日	数				指標種別	活動結果指	<del></del> 標						
3 - 3/3 3 - 5/4 /		7,0,,,				年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	j	指標の概要	春と秋に実施	した渋滞対策	の対応日数	
戦略プラン	·/ -	-	-  -	目標		-	-	-		-	-	-	-						
		2	1 観光の振興	実終	績 17	7日	16日	18日											
総合戦略	,   _	-	_			ŀ	128年度					29年度		そ	の他の指標	-			
	-	-	-  -				関東鉄道が運行 を実施していく。	する筑波山直通	世代 は										
個別計画			の〈ば市観光基本計画(平成29年4	標					目標	る。	ノにスマートホン	を利用した茨海	情報を発信9		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	'  月ラ 	策定)										%	*		事業費(A)	3,778千円	1,425千円	3,129千円	0千円
根拠法令領	<b>等</b> _			事業	ルートから、う	う回路では	ある表筑波スカイ	象を利用しての車 (ライン方面への	事業	コールラ  者と連携  表領波	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに,関係事業 者と連携し,渋滞対策会議を開催する。 表筑波スカイラインや朝日トンネルへ積極的に車両を誘				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
1K1&1A 4 4	J			計	車誘導を積極また,一定時	■誘導を積極的に推進していく。 ₹た,一定時間の風返し峠付近を一方通行にするなど 電った方法での渋滞解消方法を検討していく。					表現版スガイライブや射ロトブネルへ積極的に単位  導するほか、市営筑波山駐車場へのスムーズな/  ための対策も行う。		ムーズな入庫の		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	Į A	任意	的事業		遅った万法で	つに万法での汝滞解消万法を快割してい。				茨城県	と連携してパーク	7アンドバスライ	ドを実施する。	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	] — ह	部委詞	ŧ												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事	事 表と秋の行楽シーブンを中心に 夕(												一般財源	3,778千円	1,425千円	3,129千円	0千円		
事 春と和	阦の₹ 山を記	の行楽シーズンを中心に,多くの観光客が 」を訪れることから,市営駐車場などのキャ		活動	皮城県(道路維持課・県南土木事務所),関東鉄道,観 ドコンベンション協会などと対策会議を開催。ラジオ放				半期活動					_	人件費(B)	3,373千円	2,198千円	5,659千円	
I H ハン			て渋滞等が発生する状況となって 和するため。	実績	送やHP·SNS等を活用した情報の発信,迂回誘導看板の設置を実施した。										正 従事 副合	0.40人	0.30人	0.70人	
F J								実 績						時間外 勤務	150.00時間	0.00時間	200.00時間		
															臨時職員等	無	有	有	
車「ゴー」	ルギヽ	い古え	ーク及び秋の行楽シーズンの土	成	渋滞日数の派	減および氵	渋滞時間の短縮	行うことが出来	上半期						事業コスト (A+B)	7,151千円	3,623千円	8,788千円	
業 日祝の ・渋滞	日に 特情報	関係 段や駐	機関と連携して事業を実施 :車場の情報を発信 , 混雑箇所へ	果	た。					-				H 30					
要 方面	既 の警備員の配置,看板設置によるパープルライ 要 方面への迂回誘導				渋滞が完全に 策が必要であ		れたわけではない	ハため , 更なる対	課題	-				年度 当初 積 算 根	<b>責</b> <b>元</b> <b>元</b>				
環境 関連 性 ISO	-				事業の 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成	事業の 進捗状況		-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
14001 H29	-	-  -					成果が得られて		っている 評 効率					H:	30年度	TITL 1			
環境 関連 性	環境 関連  -			備			費用対効果が得								方向性 -	理由  -			
1±					総古評価B	∵成果'質/	用対効米の向上に	:努めつつ継続実施	続実施 総合評価 -										

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

			•	II																
事務事	業名	05 おも	らてなし観光推進事業	指相	標名	波山観光入道		1100 F F			指標種別		製指標 1年度 1	1100 / 12	١.,	K.I.E. 0. 107. TE	観光庁が策	定した「観光人	込客統計に関	する共通基
 戦略ブ	?=>,			目目	 標値	H26年度 200万人	H27年度 200万人	H28年度 200万人		9年度 1万人	H30年度 200万人		1年度	H32年度 200万人	- H	指標の概要	準」に基づく  (年集計)	き , 筑波山観光	た人込各を刀り	フントした値
+ 1 1 1				-	7.4主				200	////	200737	200	,,,,	200/17/			-			
	-	2	1 観光の振興	天	[績	209万人	196万人 H28年度	221万人	1		-	29年度			 					
総合単	线略	-   -		改			1120千1又		改							の他の指標	<b>[</b> -			
		-   -			観光ボ	観光ボランティアの独自組織化を目指す。 ビジターセンターの機能を充実する。					見光ボランティアのさらなる独自組織化を目指す。 た,新規ボランティアガイドの育成を行う。									
個別言	:1::::::	第2次 <sup>·</sup>	つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標					目標	C/C / 39	17963.7777	75 1 1 02	15 X C 1 3	J.		事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间加加		月策定														事業費(A)	2,209千円	1,300千円	273千円	0千円
				事業	つくばる	すからの補助会 オスとともに **	金だけではなく、	茨城県等の補助金	事	を活用す	つくば市からの補助金だけではなく,茨城県等の補助金 を活用するとともに,先進地事例等の調査を行い,団体			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
根拠法	令等	-		業計	としてのレジター	りなり立ちをサ シ独り立ちをサ	だ遥地事例寺の 'ポートしていく。 はこ向け 環境団	)調査を行い、団体 団体との意見交換を	∦計	としての	さらなる独り立	ちを目指	旨しサポー	トを継続してい		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	<b>分類</b>	4 任意		画	密にした	ながら,契約を	:行って内容等を	・吟味していく。	画	研修会	等開催予定回数 6回 研修会	效 等∶12回			内	 地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体																その他特別				
170131	Cdivit		H U	-					١.						╟┠	一般財源	2,209千円			
事	 				活 ・ボランティアスキル向上のため,研修講座(現地研制) 研修旅行を含む)を実施				; ; ] ;  -				Ш		2,764千円	<u> </u>				
のし	」を提	供し,兌	ではの細やかで質の高いでもでは、 筑波山を訪れた方の満足度の向上	うては∥動   5   5   1   5   1   1   1   1   1   1		研修旅行を含む)を美施  ・ビジターセンターの開設   平成28年11月3日~13日				-	-				Н	人件費(B)  近事	-	+		
目   を   的	·図る#	<b>=0</b> )。		績	平成28年11月3日~13日   筑波山観光案内所にて実施 											正 割合 職 時間外	0.30人		0.20人	
				-					<b>績</b> 						製務	200.00時間	10.00時間	20.00時間		
																臨時職員等	<b>無</b>	有	有	
車				成	意識向	上が見られた	。おもてなしの心	ンティアの技術や いでビジターセン	上半期成						-	事業コスト (A+B)	4,973千円	3,525千円	1,792千円	
🏝  シ	/ョン協	会へ都	光の強化を図るため , 観光コンベン 委託し , 観光ボランティアガイドの育	果	ターを いただ!	開設し,来訪者	だの強力の豊か	かな自然に親しんで	別成果	-					Н					
<sub>もロオ</sub> 「ワ)	えを行し すう。	1,行	<b>楽シーズンに筑波山周辺でガイドを</b>						*						30年	o				
•															度出	ž Í				
								独自組織として自 言が必要である。	課題	-					初	]				
ŀ	128		-	1											算根	Ĭ				
環関	環境 関連 <u></u> 性				_ 事業の <u></u> 捷状況	達成	改善目標 <i>0</i> 進捗状況	ア 達成		」 事業の き捗状況	-		目標の 歩状況	-	╽拠					
ISO 14001		.  -			有効性		<u> </u>	-		有効性	<u> </u>	_ Æ1	7//////////////////////////////////////							
⊢	H29 環境			評価	評 効変性 内で発用が効果が得られている 評			効率性	<u> </u>					30年度	- 埋由 -					
	関連		ТЩ	総合評	····································	 用対効果の向上			総合評	価 -				の方向性						

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

事務事業名	06 レンタサイクル事業	指標名				1100	- F - F - T	指標種別	成果指標	1 1100左座	+5.45.0	. 107 <del>215</del>		⁄∕⁄	ウキまったり	호 <b> (원</b> 리) #6
戦略プラン		目標値	H26年度 3,556台	H27年度 3,586台	H28年度 4,000台		年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	指標の 	)慨安	つくば駅及び   	巩波凹口 €0.	日転車の牛原	<b>夏</b> 内貸出数
+%*************************************		<b></b> /±		<u> </u>	+											
	- - -	実績	3,281台	4,057台 H28年度	<u> </u>			H2	9年度		]					
総合戦略		改		1120千皮		改		112	3千戌		その他の	の指標	-			
	- - -	善  レン	/タサイクルを利用 周知徹底を行う。	する方々への多	そ全面や保管面で	善	_									
/m nut 1	<u></u>	標	りが脱ばて行う。			標					事業	実施 (ト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計画	自転車のまちつ〈ば基本計画										事業費		1,173千円	1,399千円	0千円	0千円
		事				事						 支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	つくば市レンタサイクル事業実施要項	業繁物	亡期と閑散期での 効率的な貸出形態	利用実績に差が に努め、各方面	があるため , 的確か へ周知する。	₩ <del>31/</del>	  観光施詞	没維持管理に要	する経費に移管		- 恒 老	出金	0千円	0千円	0千円	
声光八粒	▲ <i>【</i> (1 辛的事类				17-17-17 J						<u></u>					
事業分類											八	方債 ———	0千円	0千円	0千円	
執行体制	一部委託 ————————————————————————————————————										その	他特財	1,173千円	1,399千円	0千円	0千円
事・つ(信	『即の国辺地域や 築油山禁国辺地域の					上半期				一般	財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
業は観光資	ば駅の周辺地域や,筑波山麓周辺地域の が源を幅広〈活用するための利便性向上を	活事第 動 費事	事業は平成28年度より,観光施設維持管理に要する総 費事業に移管 予算は平成29年度より観光施設維持管理に要する経 事業に移管								人件費	隻(B)	2,558千円	2,251千円	0千円	
	め。 ば駅からの2次交通手段として活用するた	実  予算					-				正	従事 割合	0.30人	0.30人	0.00人	
的  め。 			K D I			実績					内昌田	<u>13 II</u> 詩間外 勤務	123.00時間	20.00時間	0.00時間	
												到伤 職員等	無		_	
						上					事業こ		-	2,050.T.M	٥٣.	
事 ·つ〈la 事 宝施 /	『駅及び筑波山口で自転車の貸出業務をつくば駅:通年,筑波山口:4月~11月まで月間)。貸出にあたり,申請書受理及び利	成 展 一				上半期成果	-				( A +	B)	3,731千円	3,650千円	0千円	
	月間)。貸出にあたり、申請書受理及び利 の徴収等を委託。					成果					Н					
概	車の修理,日別・月別利用台数調査を実										30 年					
ne.		<b>-</b>									度 当 -					
		課 題 -				■課■題	-				▍積┃					
H28											算 根 拠					
環境 関連 <u></u> 性		事業進捗	の 大況 -	谱	 事業の E捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠							
ISO 14001	_  -		i効性 -	進捗状況			有効性	-	∕=12.1\(\)\(\)	<u> </u>						
H29 環境			]率性 -			評価	効率性	-			H30年度	复 -	理由 -			
関連 - 性	┃   関連   _	"" <del> </del>									の方向性					
	1±		総合評価 -													

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		67,986千円			0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

			·																	
事務事	業名	07 フッ	トパス事業	指相	標名	観光入込客数			1100		指標種別			╛.	15.TE 0 101 E	準」に基づく	定した「観光 <i>入</i> き , 観光入込る	、込客統計に関 字をカウントし <i>1</i>	関する共通基 た値(年集	
戦略ブ	プラン			目目	標値	H26年度 400万人	H27年度 400万人	H28年度 339万人		9年度 万人	H30年度 353万人	H31年度 360万人	H32年度 -		指標の概要		,第2次つ<ば	市観光基本計	-画「目標指	
12.42				<b>事</b>	<b>三</b>	342万人	332万人	370万人						+		行示」				
40 A W					こが只		H28年度	0/0/1/(	1		Н	29年度		╣╶	- 41 - 151	_				
総合戦	<b>ઇ略</b> -			改善	場所(	各地区毎の埋もれた観光資源を掘り起こすため,実施 所の実地検証や地元住民の方々の理解を深める。 作年実施出来なかったフットパスを活用したウォーキン			善善		フットパスを活用したウォーキングイベントなど , 誘客に ながる施策を実施する。				その他の指標	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
個別言	<u>;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;</u>	第2次1	つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標	グイク	ベントを1回以上	実施する。	<b>石用</b> りにフォーキン	■標	7,477.6	が肥果で天肥す	చ,			事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
间加		月策定	)												事業費(A)	1,604千円	1,152千円	1,151千円	0千円	
+= +60 >+	- A ~			事業	・筑波 定する		沢)において,フ	フットパスコ-スを設	∥ <del>‡</del> ∣	  ・小田地区において,道標を設置する。				国庫支出金	金 0千円	0千円	0千円	0千円		
根拠法	(令等)	•		↓ 兼 ↓ 計 ↓ 画	│·専門 最小	引家や地元有識 限で最大の効果	皆,区長等などの を発揮すべ⟨道	の意見集約を行い 標の本数も検討を	業計画	l·他部署	と連携したイベ の検討を行い,	(ントなどフット	パスの効果的な活		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分	分類	4 任意	類的事業		行い <sub> </sub> 	fい,事業実施していく。								内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体	体制 .	一部委	託											+	その他特則	オ 0千円	0千円	0千円	0千円	
+	•	こ点在する観光資源を線としてつなげるたットパスコースを設定するとともに,道標を」,年間を通して魅力的な観光空間を提供常的な観光誘客を図るため。							上半						一般財源	1,604千円	1,152千円	1,151千円	0千円	
事は	b内に, り, フッ			活動	平成2	平成28年度においては,専門家のアドバイスや関係区 長との意見交換を実施し,小田地区周辺にフットパス				_				人件費(B)	2,229千円	2,331千円	2,251千円			
の目的	を備し, ノ, 恒常			実績	ルー	り息兄父揆を実 <i>り</i> トを設定した。	期活動実	ľ					従事割合	0.30	0.30人	0.30人				
цJ									績					内訳	時間外 勤務	0.00時間	50.00時間	20.00時間		
														+	臨時職員等	等 無	有	有		
<b>+</b>				成	新たが	なフットパスルー	トを設定すること	とにより 観光客誘	上半期						事業コスト (A + B)	3,833千円	3,483千円	3,402千円		
のと	さんこう	スコー 内マッ	スの企画・設定 , 道標を設置すると ・プを作成し , 市内外に広〈周知す	Ш 🚥	客につ	新たなフットパスルートを設定することにより、観光客誘客につながる観光資源の開拓を行うことが出来た。								3	H 30					
-	既 要   -  -   -   -   -   -     -     -				パスルートを利見 もしていく必要が		イベントなどの企画	課題					月三名和	算 根						
	環境 関連 性				事業の き捗状法		改善目標 <i>0</i> 進捗状況	達成	事業の 進捗状況			改善目標( 進捗状況	-	掛	処					
ISO 14001		· <u> </u>			有效		 成果が得られて	•		有効性	<u> - </u>									
環	H29 環境 関連 性		評価	効率	巫性 中:適切な	費用対効果が得	果が得られている評価		効率性	ŧ -				130年度 )方向性	- 理由 -					
			総合	評価 B∶成果·費	用対効果の向上	に努めつつ継続実施		総合評	価 -											

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

± 75 ±	· NII 👉	(H2		指標	名 観光入込客数					指標種別	活動結果指	 標						
事務事	·亲名	定算	28)第2期つ〈ば市観光基本計画策 事業		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	-   	指標の概要	┃ ┃目標値は, 第	育2次つ⟨ば市	観光基本計画	「目標指標」
戦略プ	プラン	-   -		目標	[值]	-	-	346	万人	353万人	360万人	-						
				実糺	遺 -	-	-											
総合単	线略	-   -				H28年度			I	H2	9年度		そ	の他の指標	{			
				改	新たなつ〈ば市の観〉 〈	光指標となるべく	計画を策定してい	改善目	-									
個別言			市観光基本計画(平成24年6月4日	標	<b>\</b> 0			標						事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		策定)											Į	事業費(A)	0千円	3,857千円	0千円	0千円
根拠法	·今等·	_		事	有識者メンバーの選	定やスケジュール	ルを策定し、速やか	事業	·第2次 議1,第	つくば市観光基語	本計画(最終案	)を5月庁議に付		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
10,272				計画	に計画作成を実施し	ていく。	VERREO PET II	計		1年度の中間検討	正に向け,各種:	テータ等の収集		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	分類	A 任意	意的事業											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行位	執行体制 一部委託												$\  \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車		)持つ観光資源や特性を最大限に活用し,▮			策定委員会を5回実施するとともに , パブリックコメントを 実施し、計画の具体変を等守した			上半						一般財源	0千円	3,857千円	0千円	0千円
業のは	つくば			活動				II ++0					/	人件費(B)	-	5,394千円	2,225千円	
	R光振 体系的	興を区 に構築	るとともに、観光施策を総合的かつでする。	美績	施し,計画の最終案を策定した。			動実						正 従事 割合	人00.0	0.70人	0.30人	
								績					別訳	時間外 勤務	0.00時間	100.00時間	10.00時間	
								  -						臨時職員等	-	有	有	
事	[-/]	ı°→-≠□	ᄽᄫᆂᆚᆕᅉᅌᆃᄝᄼᄁᇕᅝᄼᅩᅩ	成	第2次つ〈ば市観光基	基本計画の最終	案を策定すること	上半期						事業コスト (A + B)	0千円	9,251千円	2,225千円	
業のた	フへに フーキン ラー 今後	ょの飲 ソグチ との方	光基本計画策定委員会」及び「庁内 ーム」を形成し,つ〈ば市観光のあり 針・施策について検討し,その方針 を策定してい〈。	果   7	が出来た。			成成果					Н					
概要に	」, つい [沿って	て計画	を策定していく。										4年度	) <u>=</u> =				
				課				課					年度当初	, 1 1				
		- 1-	<u> </u>	題	-			題	-				積					
日 環 世	H28 環境 関連 <u></u>		•		業の達成	│ 改善目標 <i>0</i>			事業の		改善目標の		₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	<u>L</u>				
ISO				進	<b>沙</b> (八)	<u>進捗状況</u> は成果が得られて		i	≛捗状況 ┃ ┃ ┃ 有効性	‡  -	進捗状況							
H 環			評価	効率性 中:適切な			評価	効率性				H3	30年度	- 理由 -				
関		'''			の向上に努めつつ継続実施		総合評				(D)	方向性						

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	14	観光振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	67,986千円	70,140千円	67,766千円	0千円
る経費全体	総人件費	16,742千円	22,099千円	21,498千円	
全体	総事業コスト	84,728千円	92,239千円	89,264千円	

車殺車	* 学夕	οο ι <del>, t</del> i	或レンタサイクル事業	指標	票名 広域レンタサイク	クル利用者数				指標種別	成果指標							
<del>7</del> 177 <del>7</del>	未口り	09 121	3.レファッコ アル <del>ゴ</del> 未		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	標の概要	広域レンタサ	イクル利用者	数。	
戦略プ	プラン	-   -		目標	票値 -	-	-		-	-	-	-						
		2	1 観光の振興	実統	績 -	155	-											
総合単	线略					H28年度			1	H2	9年度		そσ.	の他の指標				
	-			改善	広域レンタサイクル事 基本と考えていたが、	レンタサイクル事業において,当初から乗り捨てを と考えていたが,乗り捨てを希望されない方も一定 るため,広域レンタサイクル事業実行委員会におし		改善目	善									
個別言	;im	水郷筑	波広域レンタサイクル乗り捨てシス		数いるため、広域レン て調整を行う。	/ブリインル事業	夫打安貝云にのい	標						事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
旧八八口		テム検	証事業										事	業費(A)	485千円	485千円	0千円	0千円
根拠法	·今筀 .	_		事業	実証実験から本事業 調を合わせ、各メディ	に移るにあたり	関係自治体の歩	事業					<b>[</b>	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
10,0074	· ~ · ·			±⊥ l	調を合わせ , 各メディ 図りつつ , 利用者増を	アの露出を増や を推進していく。	し,知名度アップを	業計画	観光施記 	設維持管理に要	する経費に移管			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	業分類 E 補助金・負担金事業 行体制 全て委託											内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行位	本制 3	全て委	託										3	その他特財	0千円	485千円	0千円	0千円
車	事 日本初	本初の広域レンタサイクル乗り捨てシステム 築することにより、新たな観光ツールを提供 現光客や地元住民が地域を周遊する動機づ する。また、茨城県のサイクリング環境を広く るとともに、交流人口の拡大と地域経済の 化を図る。			事業は平成28年度より,観光施設維持管理に要する 費事業に移管 予算は平成29年度より観光施設維持管理に要する経									一般財源	485千円	0千円	0千円	0千円
学業の	·構築? · , 観光			動									人	件費(B)	-	760千円	0千円	
貝 PI	Rする			美 績	予算は平成29年度よ 事業に移管	リ観光施設維持	官埋に要する経質	黒					正職		0.10人	0.10人	0.00人	
/ <u> </u>	51±10	<u>~~~</u>	<b>ర</b> .					績					内員	時間外 勤務	0.00時間	10.00時間	0.00時間	/
								-						品時職員等	-	無	-	
事	つくば	゚リンリン	ンロードから霞ヶ浦自転車道に関連	成果	_			上半期						業コスト A + B)	485千円	1,245千円	0千円	
業り	「る7自 'ル乗!	∄治体と Ĵ捨てシ	と茨城県で水郷筑波広域レンタサインステム検証事業実行委員会を立	果				成果					Н					
概   5 要   入	上げ, し,事	,委託统 業展開	先を決定し,自転車5台を新たに購 閉していく。										30 年					
				課				▮誤					年度当初積	-				
		-  -	<u> </u>	課題	-			題	-				積算					
H 環	H28 環境 関連 <u></u>		1	事	事業の	│ 改善目標 <i>の</i>	)		事業の		改善目標の		算根拠					
ISO	性				<del>-</del> 捗状況	進捗状況	-		<u> </u>	<u> </u>	進捗状況	_						
環	H29 景境	-  - 評	評	効率性 -	有効性 - 評価	有効性					H30	年度 -	理由  -					
関	引連 - 性	(金)		∥ ''' ⊦	総合評価 -									i向性 -				

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		16,961千円			0千円
る経費全体	総人件費	5,973千円	5,164千円	7,990千円	
全体	総事業コスト	22,934千円	22,470千円	21,491千円	

事務事	業名 (	01 観う	光宣伝事業 	指標	票名 観光	入込客数					指標種別	成果指標				観光庁が策る	こした「観光入 き,観光入込客	込客統計に関	]する共通基 ∸値(年集
3.003.2	<b>Х</b> П	о . <sub>Е/б</sub> у				126年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	j	指標の概要	計)			
戦略プ	ラン	12	1 観光の振興	目標	票値 4	.00万人	400万人	339万人	376	万人	382万人	388万人	394万人			目標値は  標」	第2次つ(ば	市観光基本計	画「目標指
		-   -		実	績 3	42万人	332万人	370万人											
総合戦	略						H28年度				H2	9年度		] <sub>そ</sub>	の他の指標	_			
	_			改善目	する。			)強化として,観光ガイドブック「み 国語版を海外旅行代理店に送付		·圏央道	ウンド強化。 類通に伴う新規	!キャンペーン開	催地やPRチャン	,					
個別計			つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	+==	・キャンペ・ どの新規閉	ーン開催地の 開拓を行う。	として圏央迫酒を	々井アウトレットな	目標	ネルの原	ルの開拓。			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
旧沙山		月策定												1	事業費(A)	6,861千円	6,306千円	2,501千円	0千円
根拠法令	<b>公</b> 笙			事業	・観光コンが版観光パン	ベンション協 ンフレットの <sup>8</sup>	弱会や関係団体の 種類増加を推進	関係団体と連携し,外国語 加を推進する。		・インバウンド強化として,ことりっぷ外国語版等を活用し,インバウンド商談会等へ積極的に参加する。 ・圏央道開通に伴い,埼玉・群馬方面からの誘客を目指				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
1区1处/公	√ <del>13</del> -			計		首都圏や圏央道沿線等でのPR強化のため,新規1か 所以上を含め,5回以上のキャンペーンを実施する。					し、キャンペーン開催地の新規開拓やPRチャンネルを				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分	類	4 任意	意的事業		所以上を含	含め,5回以	.上のキャンペー	ンを実施する。	画	開拓する	5.			内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	行体制 職員のみ													$\  \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
<b>=</b>		情報の提供 , 観光キャンペーンの実施 , 観 イドブックの作成 , ウォーキングイベントの実 市内の観光資源の魅力をPRする事業を実 ることで , 観光誘客を図るため。			ノンルドウン	インバウンド強化に向け,観光ガイドブック「ことりっぷ									一般財源	6,861千円	6,306千円	2,501千円	0千円
製業 観光な	光情が			加   加   大   大。   た。   沿線	つ〈ばさんぽ」の英語版及中国語(簡体語版)を発行し た。また観光キャンペーンについては,首都圏・圏央道									,	人件費(B)	4,294千円	3,507千円	6,391千円	
▮□∥灺	等 , it するこ				沿線を中心に,新規9箇所を含む25箇所で積極的な観 光PRを行った。				期活動実績						正 割合 職	0.50人	0.40人	0.80人	
					78. (C) 7 7 C									内訳	時間外 勤務	217.00時間	217.00時間	200.00時間	
															臨時職員等	無	無	無	
事観	光ガイ	イドブッ	クの作成及び効果的な配布,つく	成	観光キャン	ノペーンは特 キャンペーン	また圏央道開通で カーアル织ューギ	を踏まえ , SAやIC たな客層へのつく	上   半   期						事業コスト (A + B)	11,155千円	9,813千円	8,892千円	
業の概	観光: 波山? 等。ま ング紙	大使を 籠を起 た,常	クの作成及び効果的な配布,つく活用した観光キャンペーンの実施,点としたウォーキングイベントの実際のといる。 はいたウォーキングイベントの実際のは、 はいでは、 はいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	果	ばのPR·権	ヸ゙゚ゖ゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゙゙ゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚	マステ語の , 新図ることができた	たな台信へのフへ。	成果					H 30	0				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Edge		課題	が必要であ ・圏央道開 拓が必要 <sup>-</sup>	ある。 引通をいかし	新規エリアでの	バウンド誘致強化 PRチャンネルの開	課題	-				年度兰初積算机物	章   					
関 性 ISO	連 _				事業の   捗状況   有効性	達成中:適切な)	改善目標の 進捗状況 成果が得られて	连风	事業の 進捗状況 有効性		-	改善目標の 進捗状況	-		<u> </u>				
14001 H2 環	29 境	-  - 評 価	評価			費用対効果が得		評価	効率性					30年度 方向性	理由 -				
関連 性			'	総合評価	B∶成果·費昂	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	——————————————————————————————————————		総合評価 -			711-111						

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	15	観光宣伝に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		16,961千円			0千円
る経費全体	総人件費	5,973千円	5,164千円	7,990千円	
全体	総事業コスト	22,934千円	22,470千円	21,491千円	

事務事業	名 0	12 #1	イエンスツアー事業	指標	名サイエンスツア	一利用者数				指標種別	成果指標							
71)7×			· エンハンン - 子米		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	つ〈ばサイエ  アーに受入し	ンスツアーオフ た人数	7ィスを通じて†	サイエンスツ
戦略プラ	ン	12	1 観光の振興	目標	値 	-	-		-	-	-	-						
		2	1 観光の振興	実績	責 20,366人	20,188人	16,135人											
総合戦電	格 .	-   -				H28年度	*** *=			H2	9年度		その	の他の指標	-			
	-	-   -		ᆘᄷᇎᆙ	外国人受け入れの7 語·韓国語のパンフ0 用を図る。	ための体制強化。 O作成及び英語の	として、央語・中国 D話せる職員の雇	改善	│ 改 │ │ 善・インバウンド誘致に向けたPR強化 │ 善・アグリツーリズムや筑波山等市内に点在する観光資源									
個別計画			 つ〈ば市観光基本計画(平成29年4	標				目標	との連携	<b>隽強化</b>				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		策定	)		<誘客件数>								事	事業費(A)	10,100千円	11,000千円	11,000千円	0千円
根拠法令	等	2(ばt	ナイエンスツア-推進事業に係る協	事	学校団体200校 , 15 名 つ〈ばサイエンスツ〕			事業	利用者均	ナイエンスツーバ 増加のための特				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
INJ.C/A	, ,   , ,	E書		∥ 計   <	<外国人誘客>			計画	· 英語版	人誘客 > (ホームページの				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	事業分類 E 補助金·負担金事業 執行体制 補助金(直接)			- ■ ·外国人受入体制強化のため,サイエンスツアーオフィスに外国語対応可能な職員を配置 - · 英語版ホームページの作成					│·筑波大 │ │	、留学生等を活用	ドの養成	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	制補	蒯金	(直接)										-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車		機関の集積する筑波研究学園都市の特性を シ, 市外から観光客を誘客するため。		. ا	< 誘客件数 > 学校団体155校 , 12 呂	,846名 ·一般団	体129団体 , 4,130	上半						一般財源	10,100千円	11,000千円	11,000千円	0千円
業   研究	こ機関			泊   .    動   .	コ つ〈ばサイエンスツ∑ 舌用したイベント18回	アーバス利用者4	,277名 , 同バスを						人	(件費(B)	1,679千円	1,657千円	1,599千円	
の目的	<b>い</b> し, '			実   <sup>'凸'</sup> サ	ロボックに サイエンスツアーオ 配置	可能なスタッフの						II.	従事 E 割合	0.20人	0.20人	0.20人		
нэ					· 英語でのサイエンスツアーバス特別イベントの実施 集計対象の見直しにより利用者減				績					時間外 勤務	72.00時間	72.00時間	50.00時間	
								<del> </del>						臨時職員等	無	無	無	
東 つ/	1 <del>-1</del> ++	ノナン	′スツアー実行委員会(事務局∶茨	┃ ぱぱん ぱん	世界有数の最先端科 ば」の知名度及び魅力	は学技術が集積する カートに効果を	「る」科学の街つく 上げている。また,	上						事業コスト (A + B)	11,779千円	12,657千円	12,599千円	
業 城県 の サイ 概 体を	₹)か (エン E中心	ら(財) スツア いに , -	) 茨城県科学技術振興財団つ〈ば 7ーオフィスへ事業委託し, 学校団 -般団体や個人をつ〈ばの研究機	果   9	ば」の知名度及び魅だれ国語版パンフレットの配置により,外国/きた。	の配布及の央部 人旅行客に対する	部	明成果	-				H 30					
H28	<u>-</u>	秀客す <u></u>	る。 		インバウンド誘致に 筑波山やセグウェイ との連携強化	ーーーーー 向けたPR強化 ツアー等市内に	 点在する観光資源	課題	-				年度当初積算根:					
環境 関連 性 ISO	₫  _			進技	業の 造成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の き捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
14001 H29		_  -   -   -   -   -   -   -   -   -   -	∥ <sub>≐⊽</sub> ⊢	有効性 中:適切な			評	有効性  - 		H30	0年度	TE -						
環境 関連	Ē -	·		I ™ ⊢	効率性中∶適切な			┨価	効率性					方向性 -	理由  -			
性			2	総合評価 B:成果·費	用対効果の同上に	_ 労のフフ継続実施		総合評価 -										

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	16	観光客動態調査に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	59千円	84千円	296千円	0千円
る経費全体	総人件費	1,679千円	1,657千円	2,331千円	
全体	総事業コスト	1,738千円	1,741千円	2,627千円	

事務事業名 01 観光客動態調査事業			指	標名 観光客(筑	<b>汽波山観</b>	光客)入込数記	周査日数			指標種別	活動結果指	票							
3 - 3,3 3 - 5,1		12,00	O pag 2000 o pag 3 2 2 3 5 7 1			H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度 H32年		H32年度	į	指標の概要	筑波山での交通量調査とアンケート調査日数								
戦略プラ	ラン	-   -		目	標値		-	-		-	-	-	-						
		-   -		美	24日	l	12日	8日											
総合戦	略	-   -	-  -			H2	28年度			ı	H2	9年度		そ	·の他の指標	-			
		-   -		改善	にも差異が生じ	るため,	雨天時の際の	が大き〈違いデータ )予備日を設ける		  天候にク  なデータ		に調査日数を増	≜やし,より正確						
個別計				目標	など調査方法の	D見直し	を行う。		標	a	<b>'टम्</b> र ठः				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
1四万5百1		1策定	)											Ī	事業費(A)	59千円	84千円	296千円	0千円
根拠法令	<b>- 空</b>			事業	  5月·8月·11月	·2月の <sup>3</sup>	平日と休日の2	2日間の観光入込	事物	筑波山/ 査(交通	こおいて5月・8月 1量調査)および	月・11月・2月の パラメーター調査	観光入込客数調 £(聞き取り調		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
1区1处/五气	∢ स्त्र -			事業計画	5月・8月・11月・2月の平日と休日の2日間の観光入込客数調査(交通量調査)を行う。さらに,休日については,パラメータ調査(聞き取り調査)を実施			事業計画	素   査)を実施    計   また,観	査)を実施。 また,観光施設への入込客数及びイベントの入込客数				県支出金	58千円	84千円	110千円	0千円	
事業分	分類 D 内部管理事業						■の把握。	把握。		内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体的	制即	銭員の	み											$\left\  \ \right\ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
東一人	/  ギヰ	ば市を訪れる観光客の動態を把握することに 観光施策の適正な実施及び推進に必要な 資料を得るため。また、当該事業は茨城県 の委託事業であり、事業を実施、報告するた		活動実績	また,つくばエキスポセンターをはじめとする7施設に協力を依頼し,各施設の月別の入込客数を調査した。 他に,まつりつくば等のイベントの入込客数を調査し,県			。さらに,休日に	上半				一般財源	1千円	0千円	186千円	0千円		
業   より	),観:							∥期 ∥活  - ∥動	_		,	人件費(B)	1,679千円	1,657千円	2,331千円				
目から	らの多												正 割合 職	0.20人	0.20人	0.30人			
					に報告した。	に報告した。		人					内訳	時間外 勤務	72.00時間	72.00時間	50.00時間		
									L						臨時職員等	有	無	無	/_
事っく	ば市	ば市内の代表的な見学可能な研究施設等及 気波山への入込数を調査し,県に報告する。 山は交通量調査から入込客数を測定し,そ	成	つくば市内の主だった観光スポットである筑波山や各施設の入込客数を調査することにより,市内観光入込客数を把握することができた。 (H28観光入込客数:3,700,300人)			上半期  -	_			事業コスト (A + B)	1,738千円	1,741千円	2,627千円					
業気の	, 巩汲 波山に 他に 1		果									Н							
機告に	してい イベン	る。な	は各施設より報告を受け、県に報 お,通年調査の他,集客数の大き いても,来場者数を報告している。											4 年					
				課	  筑波山交通量詞	調査の調	周査日が県の紹	花一指定日のた	課	_				年度 当初	· 前 力				
	-	-	-	』題 ■	め,結果が天候に左右されやすい。		題		•			積	算						
H28 環境 関連	竟 連 <b>_</b>				事業の	 達成	改善目標の	) 達成		事業の		改善目標の	_	札	<b>克</b> 几				
ISO 14001		1_		進	≛抄状况   ┃		<u>進捗状況</u> は果が得られて		į	<u> </u>	<u> </u>	進捗状況							
H29 環境	9 竟	<u> </u>		評価	効率性 中:近	適切な費	開対効果が得	られている			<u> </u>				30年度 方向性	理由 -			
関連性		-			総合評価 B:成	↓果·費用	対効果の向上に	<b>三努めつつ継続実施</b>		総合評	総合評価 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	観光推進課	観光振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	17	物産品振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	875千円	1,802千円	0千円	0千円
る経費全	総人件費	842千円	832千円	0千円	
全体	総事業コスト	1,717千円	2,634千円	0千円	

	内外にて,	物産会会員	が物産品のPI	R及び出店し	
たイ	たイベントの数。				
也の指標  -					
業実施 Iスト H27	27年度決算	H28年度決算	單 H29年度当初	H30年度当初	
<b>賃</b> (A)	875千円	1,802千円	日 H29年度より産業振興課へ移覧	0千円	
車支出金	0千円	0千円	9 0千円	0千円	
支出金	0千円	0千円	9 0千円	0千円	
地方債	0千円	0千円	9 0千円	0千円	
の他特財	0千円	0千円	9 0千円	0千円	
-般財源	875千円	1,802千円	9 0千円	0千円	
` '	842千円	832千円	9 0千円		
割合	0.10人	0.10	人0.00人		
時間外 3 勤務 3	37.00時間	37.00時間	0.00時間		
時職員等 *	無	無	-		
<b>€コスト</b> + B) 1	1,717千円	2,634千円	0千円		
=	理由 -				
	実入費     支     支     方     他     財     (8)     日 <t< td=""><td>実施 大 費(A) 875千円 支出金 0千円 支出金 0千円 支出金 0千円 砂方債 0千円 砂方債 0千円 砂け豚 875千円 費(B) 842千円 で割合 0.10人 時勤務 37.00時間 無コスト + B) 1,717千円</td><td>実施 スト 費(A) 875千円 1,802千円 支出金 0千円 0千円 支出金 0千円 0千円 砂方債 0千円 0千円 砂付財 0千円 0千円 砂財源 875千円 1,802千円 費(B) 842千円 832千円 従事 割合 0.10人 0.10人 時間外 37.00時間 37.00時間 野職員等 無 無 コスト + B) 1,717千円 2,634千円</td><td>  接換   H27年度決算   H28年度決算   H29年度当初   費(A)   875千円   1,802千円   H29年度当初   25出金   0千円   01円   01円</td></t<>	実施 大 費(A) 875千円 支出金 0千円 支出金 0千円 支出金 0千円 砂方債 0千円 砂方債 0千円 砂け豚 875千円 費(B) 842千円 で割合 0.10人 時勤務 37.00時間 無コスト + B) 1,717千円	実施 スト 費(A) 875千円 1,802千円 支出金 0千円 0千円 支出金 0千円 0千円 砂方債 0千円 0千円 砂付財 0千円 0千円 砂財源 875千円 1,802千円 費(B) 842千円 832千円 従事 割合 0.10人 0.10人 時間外 37.00時間 37.00時間 野職員等 無 無 コスト + B) 1,717千円 2,634千円	接換   H27年度決算   H28年度決算   H29年度当初   費(A)   875千円   1,802千円   H29年度当初   25出金   0千円   01円   01円	